

# 第1回定例道議会で質問



3月4日、平成26年第一回定例道議会で一般質問に立ち、「社会保障の充実」「地域包括ケアシステムの推進」「中小企業対策」「林業問題」「教育問題」の5項目について、知事、教育長らに道の取り組みについて聞きましました。



主な質問と答弁の概要は以下の通りです。

## ■社会保障の充実について

Q、国の社会保障と税の一体改革による消費税増税分は、そのすべてを社会保障の充実と安定に充てるとしているが、道としてどのように社会保障の充実を図るのか。

A、総合診療医の養成など「地域医療の確保」や地域包括ケアシステムの構築など「高齢者や障がい者の安心確保」のほか保育所の整備など「子どもを産み育てやすい環境づくり」を推進する。

## ■中小企業の競争力強化について

Q、国の経済活性化対策の効果を地域に確実に行き渡らせていくためには、道内の中小企業の競争力強化を図っていくべきと考えるが、どのように取り組むのか。

A、経済産業局や産業支援機関との連携による、道内各地での施策のプロモーション活動をはじめ、3月から、道内7か所に経営指導の専門家を配置するなど、販路開拓、人材育成に取り組んでいく。

## ■学生ボランティア学習サポート事業について

Q、道教委は、子どもたちの学習習慣の定着などを図るため、休日や長期休業中などに、大学生をボランティアとして学校などに派遣する事業を行っているが、これまでの成果と課題について、

また、今後の取り組みを伺う。

A、今年度は12月末現在で、77市町村に延べ827名を派遣した。市町村からは「子どもたちの学習意欲が上がった」、また、子どもたちからは「気軽に質問でき、問題が解けた」との感想が寄せられており、市町村からはさらなる拡充の要請がある。こうしたことから、今後は学生ボランティアの増員に努めるとともに、新たに、道内の社会人を広く学校サポーターとして登録し、ボランティアとして活用できるようにしていきたい。

## プロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詔問電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職(22年間勤務)
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成23年 同4期目当選
- ◆北海道議会 環境生活常任委員会 委員長
- ◆公明党北海道本部 幹事長
- ◆北海道議会 公明党議員団 団長

## 森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21  
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043  
URL <http://kmplan.net/usr/mori/>  
E-mail [sigemori@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:sigemori@seagreen.ocn.ne.jp)

発行:森成之/編集:ケー・エム・プラン

北海道議会議員  
〈札幌市白石区〉

# 森しげゆき通信



2014

春号

平成26年度

# 道政のビジョンを提示



道議会公明党議員団は右から包国嘉介(札幌市東区)、安藤邦夫(苫小牧市)、志賀谷隆(函館市)、吉井透(旭川市)、森成之(札幌市白石区)、荒当聖吾(空知総合振興局管内)、戸田芳美(釧路市)の各道議

## 予算・道政執行の要望書を知事に手渡す

1月24日、道議会公明党議員団(団長=森成之道議)として、平成26年度の「北海道予算編成及び道政執行に対する重点要望」を行いました。

本道は、景気・経済・雇用対策をはじめ、地域の活性化、地域医療問題への対応や再生可能エネルギーへの転換などの取り組み、さらには世界を市場に据

えた足腰の強い本道農業の確立など、様々な重要課題が山積しております。

これらの道政課題を解決するため、これまでの定例道議会での質問内容をはじめ、現地視察や各種団体との意見交換で伺った内容等を集約、11分野(下記参照)にわたる246項目についての要望書を提出しました。

## あらゆる分野で政策を策定 —平成26年度予算・道政執行重点要望—

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ①景気・経済・雇用対策の推進    | ⑦環境の再生と暮らしの充実      |
| ②世界に向けた成長戦略の推進    | ⑧教育の再生と北海道らしい文化の創造 |
| ③脱原発と再生可能エネルギーの推進 | ⑨国際戦略の推進           |
| ④産業振興政策の推進        | ⑩危機管理対策の推進         |
| ⑤地域の元気づくり戦略の推進    | ⑪抜本的な道庁改革の推進       |
| ⑥安心社会の構築          |                    |

※中面で「森しげゆきの重点項目」を紹介しています。

# 4期目の総仕上げは、これに取り組みます！



## ①北海道新幹線の早期実現

北海道新幹線札幌延伸の工期短縮に取り組むとともに、大学などと連携し、物流戦略、医療・福祉、観光ビジネスなど新幹線の活用モデルの検討を進めます。

## ②道外企業の誘致

国内産業バックアップの観点から、ものづくり関連産業やデータセンターをはじめとした、道外企業の本道への積極的な誘致に取り組みます。

## ③再生医療の推進

札幌医科大学を再生医療の研究拠点として整備し、脳梗塞と脊椎損傷の治療の早期実用化を進め、第2、第3の研究に積極的に取り組めるよう支援します。

## ④再生エネルギー導入の推進

本道がエネルギー供給基地としての役割を果たすため、風力や地熱、太陽光、バイオマスなどを活用した、再生エネルギー導入の取り組みを一層促進します。

## ⑤石狩湾新港地域の活性化

サハリン州への道内企業の参入を促進するとともに、石狩湾新港地域におけるLNG基地の整備を進めます。

## ⑥農・商・工の連携を推進

農林水産業と食品産業の一層の連携を目指し、農商工連携プロジェクトを積極的に推進するとともに、農業の6次産業化を図ります。

## ⑦道と札幌市の連携強化

札幌圏の都市機能がもたらす経済効果を全道に波及させるため、道と札幌市の政策連携を強化し、地域の活性化を図ります。

## ⑧道南圏にドクターヘリを配置

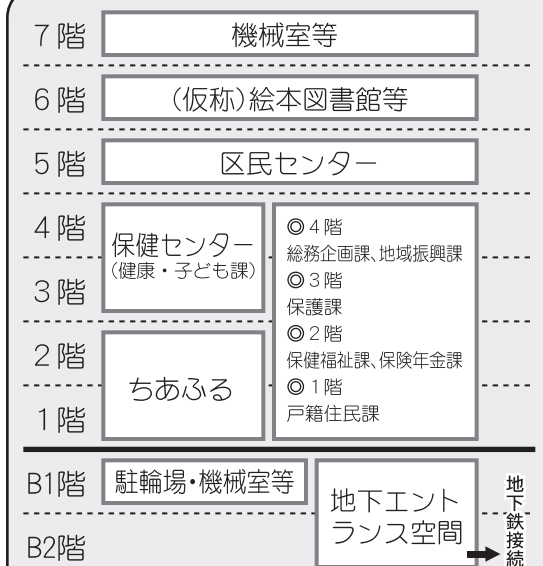
救急医療体制の確立を図るため、ドクターヘリを、道央・道北・道東圏に加え、新たに青森県との連携も視野に、平成26年度中に道南圏への配置を目指します。

## ⑨介護サービス基盤の整備

高齢化社会に対応し、高齢者が希望するサービスが受けられるよう、特別養護老人ホームやケアハウス等の介護サービス基盤の一層の整備を図ります。

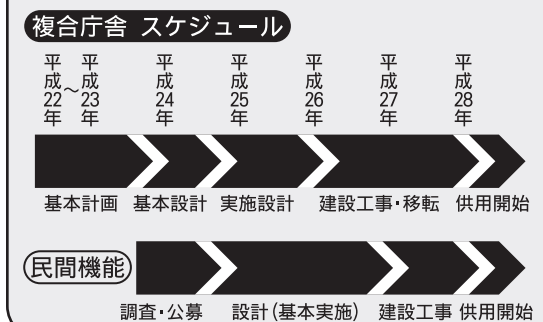
## ⑩縄文群遺跡の世界遺産登録

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」のユネスコ世界遺産登録に向けて、民間で設立された道民会議などとも連携し、積極的な運動を展開します。



## 着々と進む、白石区新庁舎建設

道議初当選以来取り組んでいる白石区役所移転は、供用を目指し、着々と計画が進んでいます。



## 「北海道フードフェア」で挨拶

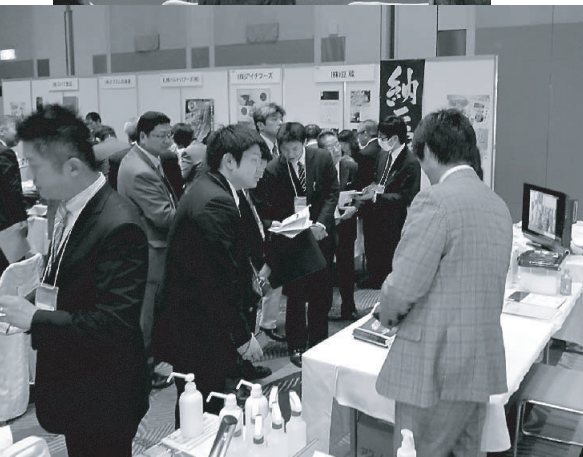


2月20日、一般社団法人北海道食品産業協議会などが主催する「第12回北海道フードフェア」に出席し、オープニングセレモニーで挨拶をしました。

フェアは道内の中小企業食品製造業のビジネスチャンス拡大の支援を目的として開催。今回は41社の企業が出展、20、21日の両日で合計約2,500人が来場し、大盛況で終わりました。

本道の食品産業の出荷額は2兆1千億円で、総工業出荷額6兆円の内、約35%を占めており、2,200の企業に80,000人の方が働いておられます。

私自身も同協議会の顧問をさせていただいており、道内の多くの地域で食品産業が地域の雇用や経済を支えていることから、今後とも食品産業の活性化に全力で取り組んでまいります。



## ◆環境生活常任委員会委員長としての活動メモ◆



- ①平成25年11月4日(月)  
ホテル札幌ガーデンパレス  
平成25年度北海道文化賞贈呈式で来賓挨拶
- ②平成26年1月14日(火)  
ホテルポールスター札幌  
平成25年度北海道スポーツ賞贈呈式で来賓挨拶(写真上)
- ③平成26年2月3日(月)  
ホテルポールスター札幌  
平成25年度北海道交通安全功労者等表彰式で来賓挨拶
- ④平成26年2月16日(日)  
江差町会館  
平成25年度北海道地域選奨贈呈式で来賓挨拶

## 森林整備加速化・林業再生基金 を活用し、林業・木材産業の振興を

本道の森林は、わが国の森林面積の4分の1を占めており、国土の保全や二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止、さらには、木材の生産・供給など道民の暮らしを支える重要な役割を果たしています。こうした中で、森林・林業の再生を図ることを目的として、国は平成21年度から補正予算において、森林整備加速化・林業再生基金を造成するため、補助金を措置しております。

この基金の継続を要望するため、私も北海道議会森林・林業活性化推進議員連盟の副会長として、議員連盟の議員や林業関係者と一緒に、公明党出身で農林大臣政務官の稲津久衆議院議員や横山信一参議院議員に要望。平成25年度も北海道として46億円の補正予算措置がなされました。

これからも、林業・木材産業が地域の基幹産業として発展していけるよう取り組んでまいります。



平成25年7月26日、稲津久農水政務官に



平成25年10月31日、横山信一農水政務官に